

授業科目	循環器障害理学療法治療学				
担当者	田坂厚志（実務経験者）				
実務経験者の概要	理学療法士として、病院や介護保健施設などで実務経験あり				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

代表的な循環器疾患の病態、症状、運動機能評価、理学療法プログラムについて学修します。不整脈の種類や心電図を用いた不整脈の判読手順を解説し、リスク管理について学修します。また、理学療法を進める際に必要となる心臓リハビリテーションについて解説します。

■ 到達目標

1. 循環器疾患の病態について説明できる。
2. 循環器疾患患者に対する評価や不整脈、リスク管理について説明できる。
3. 心臓リハビリテーション（特に運動療法）について説明できる。

■ 授業計画

- 第1回 心臓リハビリテーションの概念
- 第2回 心臓の解剖・生理
- 第3回 運動と循環応答
- 第4回 心電図の診かた
- 第5回 運動負荷試験による運動処方
- 第6回 循環器疾患の病態・検査と治療
- 第7回 循環器疾患に対する理学療法評価
- 第8回 循環器疾患に対する理学療法

■ 評価方法

科目試験（筆記試験）80%、提出物もしくは小テスト20%
 正当な理由の無い欠席（4点）、遅刻（-2点）は減点対象とする。事前連絡及び大学への出席後速やかに届けを提出すれば減点を緩和する。
 不真面目な受講態度についても減点対象とする。
 小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

適宜提示する課題を確実に学修して下さい。
 提出を求められた場合は確実に提出して下さい。

■ 教科書

書 名：理学療法学テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝 第2版
 著者名：石川 朗 総編集，木村雅彦 責任編集
 出版社：中山書店

書 名：病気がみえる vol.2 循環器 第4版
 著者名：医療情報科学研究所（編集）
 出版社：メディックメディア

■ 参考図書

■ 留意事項

欠席した場合には必ず担当教員を訪ね、講義資料を受け取ること。

■ 講義受講にあたって

これまでに学んできた解剖学、運動学、生理学の内容をしっかりと復習して学修を進めること。